

村の世帯・人口

昭和50年11月末日現在

総世帯数 3,013戸

人 口 13,123人

男 6,668人

女 6,455人

11月の人口移動

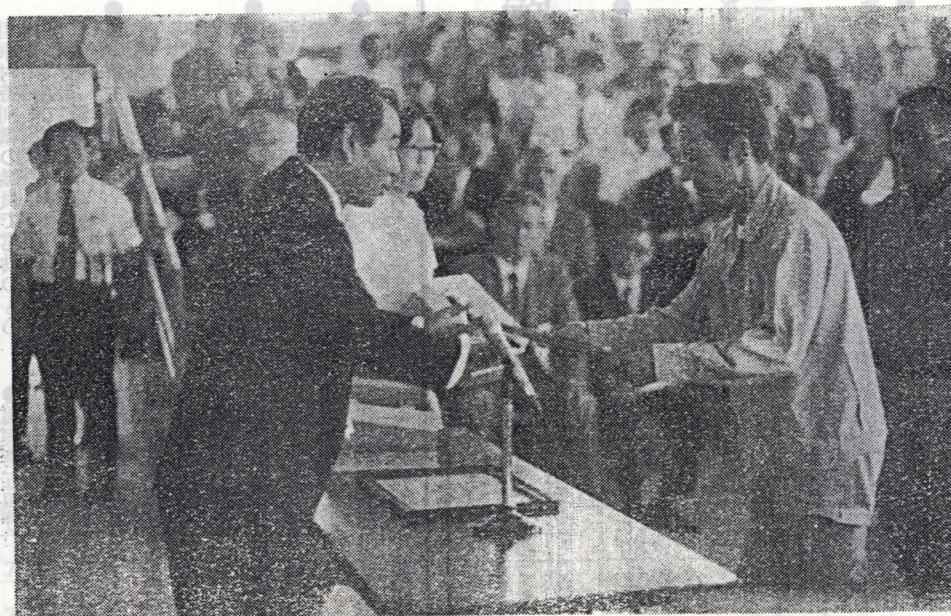
出生 26 死亡 6

転入153 転出 67

婚姻 18 離婚 2



広報にしはら



第2回県畜産共進会で経産豚の部で見事優等、農林大臣賞に輝く野国昌敏さん（字池田出身）

発行所

西原村役場

電話 (098995) 5011

5013・5012

印刷

桑江印刷所

電話 (098995) 2365

一、村政情報

- ① 第七回議会定例会終る
- ② 第八回議会臨時会よる

二、村民の広場

- ① 夕日の広場で舞い踊る
- ② 村スポーツ少年団運動会正テスト実施
- ③ 第一回西原村婦人主張大会盛況に開かれ
- ④ 西原村婦人宿泊研修四〇人の婦人参加
- ⑤ 第二回沖縄県畜産共進会で本村の野国昌敏さん経産豚の部で優等に輝く

三、告知板

- ① 農業委員会の役割について
- ② 自動車安全運転センター開設される
- ③ コザ地区児童大会（小学校）で本村代表、よく頑張った山城秀司君（西原小二年生）が中央大会へ
- ④ 今年もそろった菊の山
- ⑤ 中頭地区婦人会県外研修報告、小波津婦人会会長玉那覇恭子

村政情報

第七回議会定例会終る

去る十二月一日、午前十時から、一日の会期で第七回議会定例会が終りました。

その日提出された案件及び議決状況は次の通りです。

●議案第四八号

西原村特別職の職員で非常勤のもの
の報酬及び費用弁償に関する条
例の一部改正：原案通り可決

●議案第四九号

西原村議会の議員の報酬及び費用
弁償等に関する条例の一部改正
：原案通り可決

●議案第五〇号

西原村特別職の職員で常勤のもの
の給与及び旅費に関する条例の一
部改正：原案通り可決

●議案第五一号

西原村教育長の給与、旅費、勤務
時間、その他勤務条件に関する条
例の一部改正：原案通り可決

●議案第五二号

西原村職員給与に関する条例の一
部改正：原案通り可決

●議案第五三号

昭和五十年年度西原村水道事業会計

補正予算：原案通り可決

●議案第五四号

昭和五十年年度西原村国民健康保険
特別会計補正予算：原案通り可決

●議案第五五号

昭和五十年年度西原村一般会計補正
予算：原案通り可決

●議案第五六号

西原村国民健康保険条例の一部改
正：原案通り可決

●議案第五七号

西原村社会福祉法人の助成に關す
る条例の制定：原案通り可決

第八回議会臨時会より

去る十二月九日、午前十時から一

日の会期で第八回議会臨時会が開か
れ、六つの議案が活発に審議され、
可決及び委員会付託されました。議
案は次の通りです。

●議案第五九号

村道路線の廃止：原案通り可決
これで国立琉球大学敷地内の別表
一の三つの村道路線が廃止されまし
た。

●議案第六〇号

工事請負契約締結：原案通り可決
これは小橋川と嘉手苅地内排水路
整備工事で、契約金一、七五〇万円
で 沖繩京三KK（大城真光社長）
が十二月十五日～一九七六年三月二
十五日の工期で施工されます。

●議案第六一号

工事請負契約締結：原案通り可決
これは小波津川河川改修工事で、
契約金一、四一〇万円で、琉球国土
総合開発KK（天久豪太郎代表取締
役）が、工期、十二月十七日から一
九七六年三月二五日で施工されます

●議案第六二号

工事請負契約締結：原案通り可決
これは団体管一般土地改良事業排
水工事（小那覇地区）で、契約金
二、四〇一万六千円で、当野重機
（代表者当野幸盛）が、工期十二月
二〇日から一九七六年三月二五日で
施工されます。

●議案第五八号

昭和五十年年度西原村国民健康保険
特別会計補正予算：原案通り可決

●陳情

旧西原飛行場跡、境界設定事業に
対する補助金交付に関する陳情
：委員会付託

村民の広場

夕日の広場で

カリユシの弥勒モ-イ

十一月一日から三〇日にかけて沖
縄県主催で開催された芸術祭の民俗

芸能大会（第四回）は、二九日から
三〇日の二日間、本部町の海洋博會

別表 1

整理 番号	路 線 名	起点	終点	延 長	幅員	摘 要
1	森川～千原線	森川	千原	1,987m	4 m	全 部
2	中 筋 線	千原	千原	1,038m	〃	〃
35	上原～千原線	千原	千原	230m	〃	一 部

場内の夕日の広場で催され、三〇日に本村の字棚原の伝統文化の旗頭と弥勒が出場し四、五千人の大観衆の拍手をあげました。

稲の収穫に対する感謝祭として行なわれる、この旗頭と弥勒は、近年の稲作のキビ作への転換などもあって、もっぱら民俗文化として受継がれてきた傾向があります。

当日海洋博会場の夕日の広場で披露した旗頭と弥勒モーイは、本来の色々な踊りなどがだいぶ省略され、弥勒モーイを中心に約十五分間の所用時間。全部やるとなると約五〇分近くもかかるそうである。出場者は「豊」と「盛」と書かれた琉球王朝からさずかった由緒ある旗頭を取り巻く青年達を中心に約四〇余人。チャルメラの異国情緒満点の音に先導されて、旗頭、弥勒、踊り人衆と広場せましとネリ歩く様は色彩豊かで、まさに壮観そのもの。

参観者は弥勒モーイのゆったりした、のどかな踊りにしばし目をうばわれ、棚原の伝統民俗文化のすばらしさに見入っていました。

居合せた屋良知事も、めったに見ることのできない弥勒モーイの豊年の踊りに惜しみない拍手を送っておりました。

無事夕日の広場での演技を終った四〇余人の演技者は、「一カ月以上も練習したのになった十五分では……」とちよつとも足りなさそうだったが、ホツとした表情はかくしきれなかった。他府県や外国の参観者たちは例にもれずきらびやかな琉装の美女たちが関心の的で、にわかモデルの注文が殺到し彼女たちは「あら、また……」といったながらもつい顔はほころびながら……

居合せた本村出身の海洋博見学者も、「西原にも、こんなにすぐれた民俗芸能があったのか」と感動し、このすばらしい伝統芸能の保存、継承の必要を強く感じたと述べていた。

棚原でもこの民俗芸能を毎年の行事にしたら……という声もあるとか。村民みんなで村の伝統文化の育成

という立場から、この課題に取り組んでいけたらと、まだ興奮さめないうた。



海洋博会場、夕日の広場での
字棚原、ミル舞い

村スポーツ少年団

運動適正テストを実施

去る十一月二四日、西原中学校体育館で結成もない村スポーツ少年団の運動適正テストが実施されました。

テストに参加した団員は八三人。

このテストのネライは、人間の運動基礎となる能力や身体の動きを総合的に見ようとするもので、性、年齢を問わず誰れでも、いつでも、どこでもでき運動の適正を科学的にとらえようとするものです。

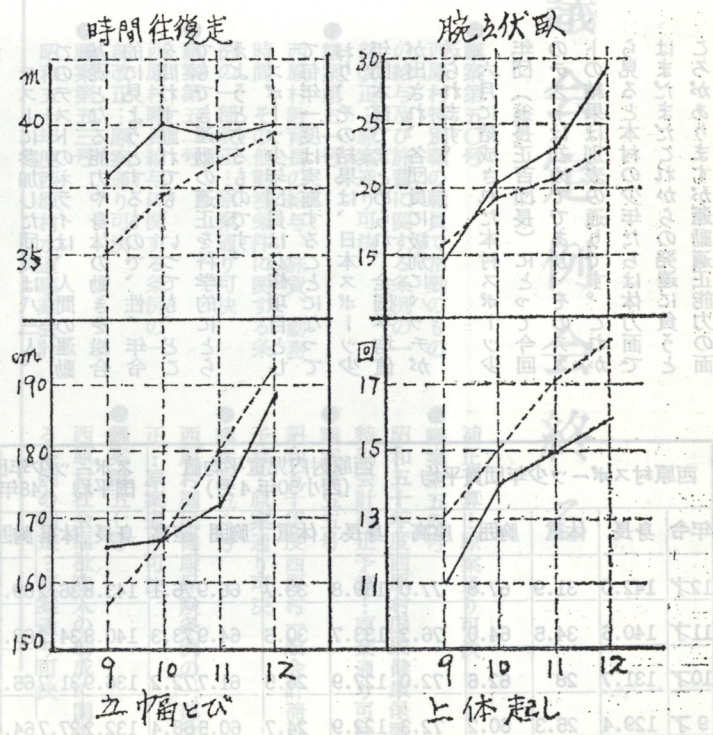
スポーツ少年団員は必修項目として毎年一度は実施することになっており、その結果は、日本スポーツ少年団本部でまとめられ、全国平均値が出され、各団員に級別にバッチが送られます。

六月に結成された本村スポーツ少年団(会長正吉団長)にとって今回のテストは初めてであり、そのテストの結果は別表の通りです。これから見ると本村の少年たちは体力面ではまだまだこれからの発達に負うところがありますが運動適正能力の面

では、全国平均に比べかなり高いことがわかります。

西原村スポーツ少年団員平均					西原村内児童平均値 (西小50年4月)				スポーツ少年団全国平均 (48年度)			
年齢	身長	体重	胸囲	座高	身長	体重	胸囲	座高	身長	体重	胸囲	座高
12才	142.0	31.9	67.8	77.0	139.8	33.7	66.9	76.1	143.8	36.2	69.4	76.9
11才	140.6	34.5	64.0	76.2	133.7	30.5	64.9	73.3	140.8	34.2	68.3	75.4
10才	131.7	28	62.6	72.0	127.9	26.5	61.7	72.2	136.9	31.7	65.7	74.3
9才	129.4	25.3	60.2	72.3	122.9	24.7	60.5	68.4	132.2	27.7	64.6	71.6

年令	区 分	立幅とび	上体起し	腕立伏臥	時間往復走	5分間走
12	西スポ少	188	16	29	40	1160
	基準値	193	18.8	23	39.6	1140
11	西スポ少	171	15	23	39	1110
	基準値	180	17.3	21	38.3	1090
10	西スポ少	167	14	21	40	1210
	基準値	167	15.6	18.8	37.0	1040
9	西スポ少	166	11	14	37	1040
	基準値	156	13.8	16.5	35.5	990



第一回西原村婦人主張大会

盛況に開かれる

西原村婦人会（大城静子会長）では、去る十一月十六日、午後一時から西原村役場ホールで第一回婦人主張大会を開催しました。

国際婦人年にあたる今年、新しい企画として、この婦人主張大会がもたれた意義は、はかり知れないものがあります。

社会の変化が急テンポで解決すべき社会問題も山積されがちな現代社会、こうした状況の中で家庭婦人の立場から、意見主張等を行ない交換し合う中から今後の社会活動の中で家庭の婦人が婦人として何を、どうなすべきか等の糸口を見い出す手がかりとなれば、として第一回婦人主張大会の計画がなされたという。

村婦人会の呉屋キクエ副会長の開会のことばの後、松田州弘（西原中学校長）平安恒政（村総務課長）玉那

覇香代子（村婦人会副会長）新川美代子（村社会教育主事）呉屋行保（村農協参事）五人の審査で主張大会は開始されました。

主張は九人の婦人が行ない、その取り上げたテーマはどれもこれも今日の社会の中で婦人がどう考え、どう生きていくかということを経験とか、意見とかの形で力強く主張されました。

主張のテーマと主張者の方々は次の通りです。

①テレビが与える悪い影響：仲宗根史子②婦人会活動：沢庵節子③ソロバンと私：弓削弘子④過去をふりかえって：我謝豊子⑤家庭と婦人会活動：翁長綾子⑥男女平等について：玉寄美江子⑦国際婦人年に思う：山田夏子⑧私のあゆみ：大城静子⑨婦人会を結成した喜び：城間千代。

主張大会は約一時間で終り審査の講評に立った松田氏はそれぞれの主張者の主張態度、及び主張内容はかなり現実的で親しみのもてるものであるとし、今後は、もっと訴える力のある主張に高めてもらいたいとの抱負を述べられた。

婦人の主張第一回大会はこうして九人の主張者の今日の生活に題材の取られた意見発表で幕を閉じたが一回目にしては多数の参加、そして主張に順位を決めることなく婦人の意見の交換の場として位置づけ出たユニークな企画と、今後の婦人会活動の一つの方向性を示す、すばらしく意義多い大会だったと言えるでしょう。

主張大会の後、各々の婦人会の歌や踊りの余興が発表され、楽しい意見、情報の交換が行なわれました。

西原村婦人宿泊研修に

四〇人の婦人参加

去る十一月二十九日から三〇日にかけて、一泊二日の婦人宿泊研修が村婦人会、村教育委員会の主催、村選挙管理委員会の後援で、国民宿舎、名護浦荘で開かれました。

目まぐるしく変化する社会の中で核家族、婦人就業率の増加、物価の急上昇等、家庭の主婦にかかわる社会問題は多くなる一方、そういう中で婦人としていかに考え、いかに生きて行くかを会員相互のふれ合いの中から見出し、行くための自己研修及び会員としての資質の向上を図ることをネライとする、この宿泊研修に参加した婦人は約四〇人。

初日目の二十九日には、まず宿泊研修のネライと日程等の話し合いがあり、その後、村選挙管理委員会主催で映画会に移り「母の序曲」「幸福の設計」の二本を鑑賞しました。映画会の後には浦添市社会教育課長大山力氏による「婦人の今日の課題」と題する講演が行なわれ多くの示唆と問題提起がなされました。その日は村社会教育主事の新川美代子先生の「新しい中国」と題する映画と話しもあり研修者は外国の働く婦人の一面にふれ深い感銘を受けました。初日目は交流会の楽しい一時の後、明日の鋭気をたくわえるため消灯。二日目は、中城村社会教育主事の翁長良勝先生の講義「予算のたて方」が行なわれました。これから、考える主婦、経済に強い主婦となるために頑張らなくちゃと研修生の意気込みも高かった。その後はレク研修がありみんな楽しそうだった。楽しい家庭作りの潤滑油になるものと思われまふ。午前中の日程で、先に国内研修に参加し多くの見聞を体験してきた玉那覇恭子さんの研修報告もなされ、並みいる研修生に多くの示唆を与えました。報告会の後には分科討議がもたれ「婦人と消費生活に

ついて」「子供と母親の役割」「地域と婦人会の役割」三つの分科に分別活発な討議がなされました。昼食の後、中城村社教主事の翁長先生の

第二回沖縄縄県畜産共進会

で本村の野国昌敏さん経産

豚の部で優等に輝く

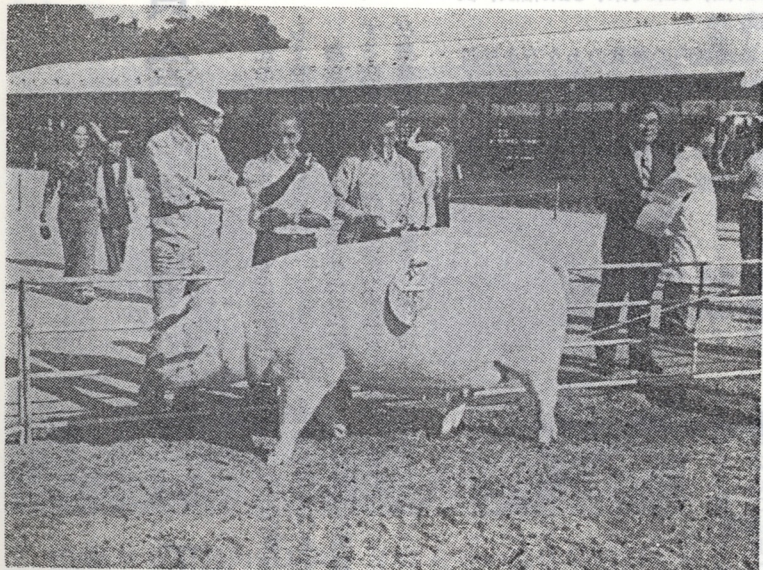
去る十一月十五日から十七日にかけて東風平村屋宜原にある南部家畜常設セリ市場で開かれた、第二回沖縄県畜産共進会で中頭地区代表として、本村からも牛二頭、豚四頭出品、他の地区から出品されたすばらしい多くの牛や豚に混って良く健闘し多数の上位入賞を果しました。とくに経産豚の部で本村字池田の野国昌敏さんの豚が見事に優等に輝く健闘を示し今後の本村における養

「会議のもち方」と題する研修があり、その後、全体会議の後研修の日程を終りました。「一泊二日の短い宿泊研修でしたがその内容の充実さと、研修生の真剣な研修態度で意欲深い研修であった」と大城婦人会会長は今後、必ずこうした研修の成果が結果してくるとの抱負と期待を述べておりました。

豚に明るいニュースを提供しました

その他の入賞の方々は、牛、豚の各部門とも次の通りです。(敬称略)

- 畜牛の部
- 肉用種々牛の部…二等：宮城正勇
- 去勢肥育牛の部…二等与那嶺正昌
- 養豚の部
- 種豚(未經産豚)…二等：新里正雄
- 種豚(経産豚)…優等：野国昌敏
- 若令雄豚…二等：城間敏夫
- 壮令雄豚…一等：泉川寛弘



経産豚の部で農林大臣賞に輝く野国昌敏さんの豚

告 知 板

農業委員会の役割について

農業委員会は、農地等の利用関係の調整、自作農の創設維持その他農地全般にわたる問題を農民の創意と自主的努力によって総合的に解決していくことを目的とした農業および

農民の一般的利益を代表する機関として設置されております。
農業委員会は、農業委員会等に関する法律に基づき農業生産力の展及び農業経営の合理化を図り、農民の

地位の向上に寄与するため次の所掌事務を行ないます。
※ 尚次号に所掌事務内容の説明を致します。

1. 農業委員会の所掌事務一覧表

農 地 関 係	1. 農 地 法 関 係	—許可不許可、確認及び協議進達買収等の事務 —農地等利用関係及び紛争処理の仲介 —小作料標準額の設定
	2. 土地改良法関係	—農用地の交換分合あつせんその他農地事情改善策の啓蒙 —農振地域整備計画策定する中で農地利用計画と農用地取得円滑化計画を策定し農用地で自立経営志向、協業経営の規模拡大につながるようあつせん事業を行う
	3. 農地適正化移動あつせん事業	—農業構造改善事業を積極的に推進するための農家の基本資料整備
農 業 振 興 関 係	4. 構造政策推進	—農業就業近代化対策事業計画、就業対策、就業相談、後継者対策、離農対策を行う
	5. 農家対策事業	—地域の農業を振興するため地域内の農業のあり方を検討し、地域に応じた経営形態を策定、農業近代化を図り自立農家経営育成に資する。
	6. 農業振興特別指導事業	—市街化区域及び調整区域の農地、営農離農対策又は農業の基礎を失う者の対策等の調整
農 業 振 興 関 係	7. 都市近こう地域農家対策事業	—主要農産物の生産費調査 —農業経営農家対策志向調査 —農地及び土地の売買価格の調査 —農外資本の農地及び土地取得調査 —農業賃金調査
	8. 諸調査の実施	—企業農業経営特別指導事業
	9. 企業農業経営特別指導事業	—企業農業経営の育成
農 業 者 年 金 基 金	10. 農業者年金関係	—農業者年金基金の委託業務の実施加入喪失給付事務 —諮問に対する答申 —建議及び意見の公表
	11. 農政活動関係	—土地と農業を守る運動の展開 —情報活動、相談活動 —農林漁業金融公庫資金 —農業近代化資金 —農業改良資金 —天災資金 —総合資金 —農業者年金基金融資(農地買入れ、売渡し及び農地取得)
	12. 農業制度資金関係	

自動車安全センター開設される

昭和五十一年一月一日から、特殊法人自動車安全運転センター沖縄県事務所が開設され、那覇市西三丁目六番地の二、沖縄県交通安全協会連合会の庁舎の一部を借りて次の業務を始めました。

■交通事故証明書の発行

交通事故証明書は、従来までは警察署が発行していましたが、一月一日からはセンターの沖縄県事務所が発行しています。証明書の必要な方は、申請書(郵便振替用紙に印刷し

たもの)に手数料を添えて、最寄り郵便局から申し込んで下さい。申請書は警察署、派出所、駐在所、損害保険会社、農業協同組合等にあります。(センター事務所直接申し込んだ方には窓口でお渡しします)

■運転経歴証明書の発行

自分の運転経歴について、無事故無違反の証明の必要な方や交通違反

の現在の点数を知りたい方などに、本人の申請により証明書を発行します。申し込みの方法は、交通事故証明書の場合と同様です。申請書は、警察署、派出所及び駐在所にあります。

■免許停止直前の点数通知
交通違反などの点数が、運転免許の停止処分を受ける直前の点数になった方に、センター事務所から郵便でお知らせします。
詳しいことは、沖縄県警察本部交

コザ地区童話大会(小学校)で

本村代表よく頑張って山城秀司君

(西原小二年生)が中央大会へ

会でも頑張ってもらいました。

去る十二月六日、沖縄市の中之町小学校で開かれたコザ地区PTA主催の童話大会に本村代表として西原小二年生の山城秀司君と坂田小二年生の山盛芳子さんの二人が出場、良く頑張っていたきました。

山城秀司君が「ふる屋のもり」山盛芳子さんが「意地悪カエル」と題してお話しをしました。

その結果、山城秀司君がコザ地区代表に選ばれ、去る十二月十三日、糸満市立公民館で行なわれた中央大



山校子
た雄技
っ良吉
張原末
頑上の
ては任
し側担
と左は
表君側
代秀後
区秀生
地城長、先

今年もそろった 菊の山

西原小(上原良雄校長)恒例の菊まつりが、去る十一月二八日に行なわれました。PTAの積極的な協力で花を育てる心から、豊かな心の生徒へと校内菊まつりを始めてから今年で三回目を迎えました。

六月ごろに 全生徒に菊の苗を配り、長い夏休み期間中も熱心に育ててもらって出品された菊の数は五八二点。

各学年ごとに最優秀の者に賞品が送られ、学級ごとの審査も行なわれました。優秀な学級には、今後も花を大切に育ててもらおうとシヨロが送られました。

桑江教頭先生は、だんだん菊の種類も多くなって、今度はそれから種をとって、来年はもっと色々な種類



生徒たちの努力の結果、すばらしい菊作品の群

の菊を育ててもらおうと考えているんです。」とその抱負を語っておりました。「休み時間中も、時々生徒が来ては、花はどうなっているかな

と見る姿は実にいいですね」と教頭先生、菊まつりがネライとする豊かな心の生徒づくりの芽ばえに満足そうに語っておられました。

本村からコザ地区代表が出るのは過去一回あるだけで、今回で二人目「頑張れば、みんな出来るんだ」ということを示してくれた山城君の頑張りは多くの生徒の間にもいい刺激となつてよりいっそう本村の教育面に反映されるもの喜ばれています。

中頭地区婦人会

内地研修報告

小波津婦人会長 玉那覇恭子



昭和五
〇年度中
頭地区社
会教育主
事協会主
催による
第二回中

頭地区婦人会国内（県外）研修に各市町村代表九名と引卒二名を含め、十一名のメンバーで婦人指導者を県外へ派遣し、その地域に於ける教育文化産業、団体活動等についての現状を視察研修し、交歓を通して指導者としての資質の向上を図る事を目的として十一月八日から十七日迄の十日間山口県萩市と宇部市、九州佐賀の大和町と研修してまいりました。研修中は天候に恵まれ、快適に十日間の日程を消化する事が出来ました。

初日の研修地である萩市は戦災にも逢わず昔の姿をそのままにとどめる歴史文化の豊庫で毛利家三十六万石の城が威厳を保ち、又明治維新等で活躍した多くの偉人達の勉学を志ざした土地柄でもあり吉田松陰の遺跡も数多く残っておりました。又焼物栽培でも有名な所でもあります。

やはり気候は裏日本に面した地域だけあり私達が萩市に到着した時点でもう冬の気配強く室内ではストーブが赤々と燃え夜の冷込みは一段と寒かった様で見学の際に吹く風は刺す様に冷たかった。さすが海に接している土地らしく海の幸が食卓を飾り、エビ、アワビ、サザエ、魚と食事の楽しい土地でした。ここ萩市の連合婦人会は校区別単位、十四校からなっており会長さんは十九代も会長を続けておられる七十歳を越される高令のベテランで、会話も巧みで私はこの会長さんが話された「会長

花園、錦ゴイ養魚場、催物会場、その他色々設備が施され、市民に市民証明書によって開放されておりました。

又青少年健全育成の面からも市民が一体となって取組み、薬局、本屋、酒屋等が協力し夜間販売停止とか売らない運動を停止したり、町ぐるみ夜間巡廻等の実施という具合に非常に力を注いでいるとお話しました。又、見学した岬小中学校では同学校内に各障害児治療教室を設けて、治療させながら普通教室で学ぶと云った特殊な組織がなされ私はこれを見て、これであれば子供自身も又、その障害児を持つ家族も劣等感を持つことなく、他人の目からのわずらわしさも受ける事なく楽しい学校生活が送れるのではないだろうか、こういう組織のあり方にとっても感心させられました。この後見学した青年会館、衛生環境保全センター等もそれぞれの分野で完璧にその機能を発揮し消化されており感心させられる点の多い所でした。しかし一農村から市昇格の地域だけに史跡とか歴史につながる文化遺跡は少ないようで一カ所見学させていただいた宗隣寺というひなびた寺の裏にある池が現在国宝指定をめざして関係者の方々が運動されているという事でこの池は池底の作りが日本で非常にめずらしい二段落し作りになっているそうで文化遺跡の少ない宇部市としては観光開発にもつながるとして是非ともという意気込みがうかがえました。宇部市での連合婦人会との交流は会員さん達の歓迎の拍手に迎えられ萩市の時とは全く違った雰囲気の中で和気あいあいの会合を持つ事が出来ました。会合出席者は五十名近くも参加され会員の心のこもった昼食をいただきました。ここでも私が気付いた点はやはり萩市と同じように会員の方々が年令層の高いこと。又、婦人会会費が沖繩と比較にならない程安いこと。市からの補助金が桁はずれに少いこと。等ですが活動内容としては萩市と同じよ

は小使い長であれ。」「婦人会は何でも屋であってはならない。利用され乍ら利用しよう。」というこの二つの言葉が強く印象的でした。しかしこの会合の場に出席者が十名程度で淋しく、会長さん一人の活発な意見が少々理屈と道理が合致せぬ様な物足りなさを抱いた事は私一人だけではなかった様でした。活動としては、沖繩の場合県で取りあげてやっている様な事柄が市の連合婦人会によつて活動されているものが数多くあった様です。一例を挙げると消費問題に於ては、テレビ、ラジオ、モニター、地元新聞等マスコミ利用のPR、青少年育成問題では各種学級開設、又婦人会独自の会報発行を通して婦人会員の末端まで組織強化の浸透を図る、等色々話の様子から、頑張っておられるようでした。私が強く感じた事は会長さんを筆頭に婦人会役員の出席者の皆さんの年代がとても高令層でしめられている印象だった事です。第二回目の研修地である宇部市に於ては到着早々地元新聞社のフラッシュと社教の方々の暖い出迎えを受けびっくり。宇部市は元小さな農村から宇部鉱山の発掘に依り一挙に市政が敷かれた日本でも数少ない特殊な市で、それだけに市民が一体となって市政に取組み金のある者は金を、力のあるものは力を、と云った考えのもとに市民の力で市作りに取組まれているというお話しでした。市内にある大きな建築物など市民の善意の力で出来上ったのも数多くあり街の中央には、ときわ公園を設け市民の憩いの場となっており、この中には四方四角にわたる人工湖があり白鳥、黒鳥、ペリカン、水鳥等が餌をついばみ、遊園地、動物園、彫刻園、熱帯園、

うに内容はしっかりしている様でした。強くここで感じさせられた事は市社教と婦人会との連絡、団結が密で、こういった事が我々を歓迎するに際しての手際良さを感ぜさせ好感を持たせる理由の一つであろう事をしみじみ感じました。

又、この宇部市には婦人会活動をさらに自主的に盛り上げた形で活動と自己の教養を、という気魄に満ちたグループ麦の会があり宇部市民として自己研修に励み地域社会に貢献しようとして一生懸命頑張っておられました。会員の皆さんがバラエティに

富み、これからの宇部市をもっと明るく住みよい宇部市にとそれぞれの立場から一体となって雰囲気を感じ上げておられるのが印象的でした。最後の研修地である九州は佐賀の大和町ですがやはり南に下って来る程暖かく吹く風もやわらかで寒さにはまだ少し遠い感じ。大和町は市内からバスで一〇分余りの所に位置し周囲高い山に囲まれ山々はほとんどがみかんと柿で黄と赤に色づき中央には巾広い川が流れて白さきや水どりが見え、ひなびた温泉が湧き老人の集会所ともなり、のんびりとしたほんとに純農村と云う所で、ここでも町長さん先頭に社教の方々の出迎と歓迎を受け、丁度この大和町の春日地区の祭りと重なった事もあって郷土色豊かな祭りのごちそうでもてなされ、又二年連続して生活改善グループの料理コンクールで日本一を獲得された方の日本一料理も紹介、ごちそうになり我々はとても幸運だったと楽しい気分になりました。

ここ大和町の婦人会長さんは町長さんの奥様でしたが、しかし病気の為半年近くも療養中との事でしたが「はるばる沖繩からよくいらっしやうって下さいました」とわざわざ病院からかけつけてごあいさつにみえて歓迎して下さいました。ここ大和町の婦人会は農協にくおる婦人会で、農協から補助金も高額受け、又会員も婦人会の呼びかけに対しては消極

的であっても農協の呼びかけだと隣近さそってでも積極的に参加するとの事でした。その理由として農協からのお土産等も原因の一つだとおぼしておられました。活動としては学級等資料を通しての限りよく開設されているようで、この日丁度（農村婦人の病氣）というテーマで婦人学級が開設されましたので我々も一緒に講座に参加いたしました。一つ

とても感心させられた事は朝九時からの時間通り定刻に講義が始まりました。途中遅れて入室する方もなくこの中には三名程は小さい幼児を連れた婦人もおられ、早朝から子供連れで時間厳守という事は私達沖繩タイム保持者として甘んじている者にとつて見習うべき事と痛感いたしました。しかし大和町は今後の婦人会のあり方が問題で農協に押されて婦人会の原形が影を薄くしていく可能性が強く感じられ、又この婦人会でも今後の問題点ではありますが、ここ大和町も新興住宅地開発と共に働き家庭の急激な増加により会員減少と役員の後継者のなり手が無いという現実が一体となって悪循環を生み増々大和町の婦人会の行く末を心細くして行く心配がうかがえる気になる大和町でした。町内見学としてはみかん山、選果場、干柿作り農家、町内の古寺、青年の家、船塚古墳等、有名な観光資源になる様な文化史跡も余りない様でしたが町全体の雰囲気は静かで美しく景色の良い町でした。

以上これまで荻市、宇部市、大和町と色々見学研修して来ましたが私が今度のこの研修を通して一番強く感じた事は自分がいかに勉強不足であるかという事を知らねばならないという事です。そして自分が婦人会活動に対してまだ未熟であるという事です。今回の研修に参加された各市村代表の方々と十日間の旅の中で色々座談会、反省会をやり乍ら各市村の状況を教えて頂き自分の村、字と比較してみたりして、むしろ私にとっては研修は沖繩の中にある様に思

えました。沖繩各地域の交流研修を重ね沖繩全体の会員相互の網を密に、情報、資料等の交換、各施設等の見学など沖繩の中で知識として消化すべき事が山積している事を痛感いたしました。研修地で色々の施設を見学し皆な感嘆しておりましたが同じような施設は規模とか数の少ないという事での違いはあっても、沖繩にも存在してある事を事後反省会の折々の話し合いの中から確認されたと同時に自分達は、もっと地元を知らなければならぬという意見も生まれました。

この研修参加者ほとんどが活動一年未満の方が多く、それでも市とか村単位の役員であればある程度婦人会のはっきりした状況も把握されているかもしれないけれどやっと、婦人会に片足を出したばかりの右も左もわからぬ幼児並みで婦人会の何たるかも把握出来ない私は、交流の場で相手方から沖繩単位の物をたずねられたりする場合とても、とまどい消極的な態度にならざるを得なかったものであります。私が今後の研修に参加できる人選で思います事は、やはり会活動の経験のある程度は深い方を推選し、又県外研修以前にもっともっと沖繩内での研修を行って会員に各面での知識を徹底させる機会を与え、その中で沖繩婦人会が何たるかも会員の末端迄浸透され、そうなるこそ県外研修が本当の意味で成果あるものとして生かされるのではないだろうかと思われました。しかし、今回の研修に参加した未熟な私にとって、各市村の代表の方々と身近に接して色々とお話しした会話は県外研修で見たもの以上に大切で必要なものであったと信じております。今後この研修仲間の人達と会活動を通して友情を交わしながら自己の励みとし、がむしゃらにならず、しかしファイドは忘れずの精神で婦人会活動に微力を尽して行きたいと決意を新たに、研修の報告といたします。

沖縄タイムス主催の

全琉図画・作文・書道コンクール

に本村からも多数の入賞者

先きに行なわれた沖縄タイムス主催の第二十三回、全琉図画、作文、書道コンクールで本村の学校からも多数の入賞者が出る頑張りを見せました。

夏休み等に生徒が作った図画、作文、書道等が出品され恒例ともなっているコンクールである。

西原小学校では生徒たちへの励しにと入賞した作品を体育館で展示し

好評を博しました。

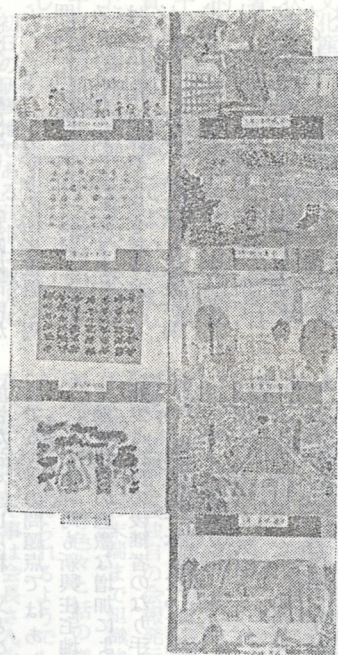
各学校の同コンクールにおける入賞状況は次の通りです。

■坂田小学校

作文：七点・図画：三十四点・書道：三点

■西原小学校

作文：九点・図画：四五点・書道：八点



研究発表

こがね虫

たかい空

平和の光

平和の光

平和の光

星の流れ

一月の行事予定

一日……第三回新春マラソン大会

(西青連)

四日……三村対抗野球大会

(北中城村にて)

五日……名刺交換会(村役場)

六日……消防出初式

(中部製糖広場に)

九日……スポーツ教室(ミニバス

ケット) 閉校式(村教育

委員会)

十五日……成人式(村役場)

一月の農業

▼種まき

早出かぼちゃ、とうが、きゅうり
いんげん、にがうり、へちま。

▼植付

さといも、みかん類、びわ、かき
茶の苗木、春植さとうきびの畑こし
らえ。

▼手入と施肥

キャベツ、なす、玉ねぎの中耕施

村民の声を募集しています

広報にしはら 村企画課

日頃、愛読いただいている「広報にしはら」の紙面をより充実させる意味から、読者の皆さんの率直な御意見、要望の自由投稿を呼びかけ致します。

なお、記事を投稿なさる場合は住所、氏名、年齢、職業等をはっきりお書きの上お願い致します。

村企画課では、広報にしはらの外

肥

▼病害虫の防除

ハウスきゅうり(菌核病、ウドンコ病)、ばれいしょの疫病防除、さとうきび、いもの野ねずみ駆除

村勢要覧、村政画報、村民便利手帳統計にしはら、村財政事情書等を発行しております。村民の皆様が必要なもの、企画にあるものにつきましては、おあげ致しますので、どうぞ御利用下さい。

あて先は西原村役場企画課、電話五〇一〜五〇一三まで宜しくお願致します。